高等学校 令和５年度（１年次用） 教科　美術　　科目 絵画（日本画）

教　科：　美術　　科　目：　絵画（日本画）　　単位数：　3　単位

対象年次組：第　1 年次　1 組～　2 組

使用教科書：（　　）

教科　美術　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，独創的・創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】　主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，美術文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

科目　絵画（日本画）　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
描画材の特性や使い方について理解を深めるとともに，専門的な技能を身に付けるようにする。	表現及び鑑賞に関する創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。	絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A 単元　百合着彩（透明水彩） 【知識及び技能】 透明水彩絵の具の特性を理解し、適切に純色を用いたり濃度調整や混色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 百合の構造や質感を観察し、そのものらしさを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむ	・指導事項　観察の要点、気づきの提案　道具の特性　色の特性　構図について ・教材　カサブランカ　白象紙　描画材（鉛筆・透明水彩を含む） ・一人１台端末の活用　等 作品記録により振り返りに活かす	【知識・技能】 透明水彩絵の具の特性を理解し、適切に純色を用いたり濃度調整や混色ができる。 【思考・判断・表現】 構造や質感を観察し、そのものらしさを表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる	○	○	○	13
	A 単元　百合着彩（日本画） 【知識及び技能】 岩絵の具等の日本画材の特性を理解し、適切に色を選び用いたり、絵の具の作り方・運筆について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 百合の着彩から構想を膨らませ、絵画的にそのものらしさを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむ	・指導事項　墨のすり方、胡粉の作り方　日本画材の特性と紹介　水干・岩絵の具の特性　構図について ・教材　着彩写生　雲肌麻紙　描画材（筆・日本画材を含む） ・一人１台端末の活用　等 作品記録により振り返りに活かす	【知識・技能】 岩絵の具等の日本画材の特性を理解し、適切に色を選び用いたり、絵の具の作り、使用することができる 【思考・判断・表現】 百合の着彩から構想を膨らませ、絵画的にそのものらしさを表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる	○	○	○	25
	A 単元　牛骨（油彩） 【知識及び技能】 油絵の具の特性を理解し、適切に純色を用いたり濃度調整や混色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 対象の構造や質感を観察し、そのものらしさを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむ	・指導事項　観察の要点、気づきの提案　道具の特性　色の特性　構図について ・教材　牛骨　貼りキャンバス　描画材（木炭・油彩道具を含む） ・一人１台端末の活用　等 作品記録により振り返りに活かす	【知識・技能】 油彩絵の具の特性を理解し、適切に純色を用いたり濃度調整や混色ができる。 【思考・判断・表現】 構造や質感を観察し、そのものらしさを表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる	○	○	○	14
後期	A 単元　野菜着彩（透明水彩） 【知識及び技能】 透明水彩絵の具の特性を理解し、適切に純色を用いたり濃度調整や混色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフ同士の構造や質感を観察し、そのものらしさを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむ	・指導事項　観察の要点、気づきの提案　道具の特性　色の特性　構図について ・教材　各種野菜　布　ざる　白象紙　描画材（鉛筆・透明水彩を含む） ・一人１台端末の活用　等 作品記録により振り返りに活かす	【知識・技能】 透明水彩絵の具の特性を理解し、適切に純色を用いたり濃度調整や混色ができる。 【思考・判断・表現】 構造や質感を観察し、そのものらしさを表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる	○	○	○	13
	A 単元　野菜着彩（日本画） 【知識及び技能】 岩絵の具等の日本画材の特性を理解し、適切に色を選び用いたり、絵の具の作り方・運筆について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜の着彩から構想を膨らませ、絵画的にそのものらしさを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむ	・指導事項　盛り上げの用い方、胡粉の作り方　日本画材の特性と紹介　水干・岩絵の具の特性　構図について ・教材　着彩写生　雲肌麻紙　描画材（筆・日本画材を含む） ・一人１台端末の活用　等 作品記録により振り返りに活かす	【知識・技能】 岩絵の具等の日本画材の特性を理解し、適切に色を選び用いたり、絵の具の作り、使用することができる 【思考・判断・表現】 野菜の着彩から構想を膨らませ、絵画的にそのものらしさを表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる	○	○	○	26
	A 単元　鳥着彩（透明水彩） 【知識及び技能】 透明水彩絵の具の特性を理解し、適切に純色を用いたり濃度調整や混色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鳥の体の構造や質感の違いを観察し、そのものらしさを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむ	・指導事項　観察の要点、気づきの提案　道具の特性　色の特性　構図について ・教材　各種剥製　白象紙　描画材（鉛筆・透明水彩を含む） ・一人１台端末の活用　等 作品記録により振り返りに活かす	【知識・技能】 透明水彩絵の具の特性を理解し、適切に純色を用いたり濃度調整や混色ができる。 【思考・判断・表現】 構造や質感を観察し、そのものらしさを表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる	○	○	○	14 合計 105